

テルモ測定機器 消毒・清掃方法一覧

種類	防水性能	洗浄や消毒の方法	使用可能な消毒液
体温計 テルモ電子体温計 ET-C207S／C217S 	IPX7	【取説P1】 ■本体と収納ケースを洗う際は、水で洗うこと。収納ケースに収める際は、乾いた布等で水気を拭き取ってください。 ■消毒する際は、消毒用アルコール綿で清拭して自然乾燥させてください。 ■必要時間以上、消毒液につけないこと。必要な時間、濃度については消毒液の添付文書を参照してください。 ■熱湯消毒（50℃以上）しないでください。	●消毒用アルコール(清拭) ●クロルヘキシジングルコン酸塩 ●ベンザルコニウム塩化物 ●次亜塩素酸ナトリウム ●グルタラル
皮膚赤外線体温計 テルモ皮膚赤外線体温計 NF-CS101ZZ／CS101DZ 	IP57	【取説P2】 ■本品の清掃前に、電池カバーが正しく取り付けられていることを確認してください。 ■本品の表面の汚れは、消毒液を浸したガーゼ等をよくしぼってから拭き取り、その後、水またはぬるま湯を浸してよくしぼったガーゼ等で ■消毒液を拭き取り、更に乾いた柔らかい布等で水気を拭き取ってください。 ■ドライヤーなどは使用しないでください。 ■ベンジン、シンナー、ガソリンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。 ■薬剤への浸け置きはしないでください。 ■測定センサ内部の汚れは乾いたベビー綿棒等で軽く拭き取ってください。 ■測定センサ内部のお手入れの際は、ベビー綿棒で強く奥を押さないようご注意ください。	●次亜塩素酸ナトリウム ●塩化ベンザルコニウム ●クロルヘキシジングルコン酸塩 ●イソプロパノール ●第4級アンモニウム塩 ●消毒用エタノール（76.9～81.4vol%）
パルスオキシメータ ファインパルスSP2 ZS-NS23／NS06 	IP22	【取説P19】 ■清掃するときは、必ず電池を取り外し、消毒液を浸したガーゼ等をよくしぼってから本体を軽く拭き、その後、水又はぬるま湯を浸してよくしぼったガーゼ等で消毒液を拭き取り、更に乾いた柔らかい布等で水気を拭き取ってください。 ■本体をシンナー等の有機溶剤では拭かないでください。 ■清掃時にSpO ₂ センサー部を傷つけないよう注意してください。 ■ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。 ■清掃時に本品を無理に開かないでください。無理に開くと破損の原因となります。	●消毒用エタノール ●ワンショットプラス ●第4級アンモニウム塩クリアパー ●次亜塩素酸ナトリウム病院用ハイター ●クロルヘキシジングルコン酸塩
血圧計 エレマーノ2 ES-H56／H56D 	IP22	【取説P33～P38（H56）、P35～P40（H56D）】 ■洗浄、滅菌、消毒した後は、外布をよく乾かしてください。 ■消毒により、外布が変色する可能性があるため、サイズ適合範囲ラインや「○」マークが消えたり、判読できなくなったら、新しい外布に交換してください。 ■本体や腕帯、及び送気球（ゴム球、尻弁部）が汚れたときは、水又はぬるま湯を浸した、よくしぼったガーゼ等でよく拭き取ってください。 ■本体及び腕帯は水洗いしないでください。 ■本体内部に、水や消毒液が浸入しないように水気をよく切ってから清掃してください。 ■清掃するときは、必ず本品の電源を切り、電池を抜いてから行ってください。 ■感染防止のため、定期的に消毒を行うこと。消毒する際は、滅菌器等は使用せず、消毒液を浸したガーゼ等をよくしぼってから本体を軽く拭き、その後、水又はぬるま湯を浸してよくしぼったガーゼ等で水気を拭き取ってください。 ■希釈率は消毒液の注意書きの指示に従ってください。 ■腕帯が汚れたときは、中の空気袋を取り出して、外布のみを洗浄してください。 ■外布を洗うときは、漂白剤を使用せず、中性洗剤で洗い、よく乾かしてください。 ■本体をシンナー等の有機溶剤、ボビドンコードでは拭かないでください。 ■外布を滅菌するときは、エチレンオキサイドガス滅菌で行ってください。 ■外布を消毒するときは外布を外し、右に記載の消毒液（成分名）にて消毒を行ってください。	【本体】 ●クロルヘキシジングルコン酸塩 ●ベンザルコニウム塩化物 ●エタノール ●イソプロパノール 【外布】 ●クロルヘキシジングルコン酸塩 ●ベンザルコニウム塩化物 ●エタノール ●イソプロパノール

血圧計 エレマーノ2 ES-H56／H56D（続き）		■外布のみを洗浄・滅菌する場合には、中の空気袋を取り出してください。 ■カフコネクタを外すときはコネクタの両端を押しながらまっすぐ引き抜いてください。 ■ドライヤー等を使用して乾燥させないでください。	
血圧計 ES-H900D 	IP24	【取説p40～p44】 ■外布を洗浄、消毒した後は、外布をよく乾かしてください。 ■消毒により、外布が変色する可能性があります。サイズ適合範囲ラインや、「インデックス」マーク、「○」マークが消えかかり、判読できなくなったら、新しい外布に交換してください。 ■本体や腕帯が汚れたときは、水又はぬるま湯を浸した、よくしぼったガーゼ等でよく拭き取ってください。 ■本体及び腕帯は水洗いしないでください。 ■本体内部に、水や消毒液が浸入しないように水気をよく切ってから清掃するようにしてください。 ■感染防止のため、定期的に消毒を行ってください。消毒する際は、滅菌器等は使用せず、消毒液を浸したガーゼ等をよくしぼってから本体を軽く拭いてください。その後、水又はぬるま湯を浸してよくしぼったガーゼ等で水気を拭き取ってください。 ■シンナー等の有機溶剤、ポビドンヨードでは拭かないでください。 ■ドライヤー等を使用して乾燥させないでください。 ■外布を消毒するときは外布を外し、指定の消毒液にて清拭してください。 ■腕帯内の空気袋を消毒するときは、破損しないようにやさしく清拭してください。 ■腕帯が汚れた場合には、消毒液を浸したガーゼ等をよくしぼってから軽く拭いてください。その後、水又はぬるま湯を浸してよくしぼったガーゼ等で水気を拭き取ってください。 ■外布のみを洗浄する場合には、中の空気袋を取り出してください。 ■外布を洗うときは、汚れがひどい場合でも漂白剤は使用せずに、中性洗剤で洗い、よく乾かしてください。	【本体】 ●クロルヘキシジングルコン酸塩 ●ベンザルコニウム塩化物 ●イソプロパノール ●エタノール ●次亜塩素酸ナトリウム ●第4級アンモニウム塩 【外布】 ●クロルヘキシジングルコン酸塩 ●ベンザルコニウム塩化物 ●イソプロパノール ●エタノール ●次亜塩素酸ナトリウム
血糖測定器 メディセーフフィットスマイル MS-FR501W 	非防水	【取説P68】 ■血糖計の測定窓に、汚れ、ホコリがついていると、「測定窓の汚れ」や「測定できません」が表示され、測定できません。 ■血糖計の測定窓に、汚れ、ホコリがついたときは、新しい綿棒に少量の水を含ませ、測定窓の形状に沿って汚れ、ホコリをぬぐい取るように拭き取り、次に乾いた綿棒で丁寧に拭き取ってください。 ■血糖計が汚れたり、チップ装着部に血液などがついたときは、少量の水や消毒用アルコールを含ませた布やティッシュペーパーなどで拭き取ってください。携帯ケースも清潔を保ってください。 ■血糖計には、シンナーやベンジンは使用しないでください。 ■血糖計は防水ではないため布やティッシュペーパーなどの水分はよく絞ってから使用してください。 ■血糖計に異物や液体が入らないように注意してください。もし入り込んだ場合は、そのままの状態で使用しないでください。	●消毒用アルコール（本体のみ、測定窓不可）
血糖測定器 メディセーフフィット MS-FR201B 	非防水	【取説P38】 ■血糖計の測定窓に、汚れ、ホコリがついていると、「測定窓の汚れ」や「測定できません」が表示され、測定できません。 ■測定窓が汚れた場合は、新しい綿棒に少量の「水」を含ませ、測定窓の形状（楕円）に沿って汚れ、ホコリをぬぐい取るようにふき取り、乾いた綿棒で丁寧にふき取ってください。＊測定窓には、シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。 ■血糖計本体は少量の水や消毒用のアルコールを含ませた布やティッシュペーパーなどでふき取ってください。 ■使用できる消毒液は70％アルコールまたは5％ヒビテン液です。	●消毒用アルコール（本体のみ、測定窓不可）

グルコース分析装置 メディセーフフィットプロⅡ MS-FKP02 	非防水	【取説P91～P93】 [本体の清掃方法] 少量の水や消毒用エタノールを含ませたガーゼパッドや布等で、ふき取ってください。 ＜注意点＞ ■本体の清掃にシンナーやベンジンは使用しないでください。破損や劣化の原因になります。 ■本体は防水仕様ではないため、ガーゼパッドや布等の水分をよく絞ってから使用してください。故障の原因となります。 ■本体は防水構造ではありませんので、内部に異物や液体が入らないように注意してください。もし入り込んだ場合は、使用しないでください。故障の原因となります。 [測定窓の清掃方法] 新しい綿棒に少量の水を含ませ、測定窓の形状に沿ってぬぐい取るようにふき取り、次に乾いた綿棒で丁寧にふき取ってください。測定窓がぬれていると、正しく測定できません。 ＜注意点＞ ■測定窓には、シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。破損や劣化の原因になります。 ■硬いものでふかないでください。測定窓に傷がつき、正しく測定できなくなります。 ■チップ装着部は、いつも清潔にしておいてください。正しく測定できないことがあります。 [バーコード窓と赤外線通信窓の清掃方法] 少量の水や消毒用エタノールを含ませたガーゼパッドや布等で、ふき取ってください。 ＜注意点＞ ■バーコード窓や赤外線通信窓には、シンナーやベンジンは使用しないでください。破損や劣化の原因になります。 ■硬いものでふかないでください。バーコード窓や赤外線通信窓に傷がつき、正しく機能しなくなります。	●消毒用エタノール (本体のみ、測定窓不可)
測定器試薬 メディセーフフィットチップ MS-FC025／FC030／FC100 メディセーフフィットプロチップ MS-PC100 	—	■試薬は個包装なので、 —使用直前まで試薬本体の清潔保持が可能です。 —測定器に装着する際に、血液採取部分に触れずに装着可能です。 —測定終了後も試薬本体に触れずに廃棄可能です。	—
グルコース分析装置 メディセーフフィットプロ MS-FKP01 	非防水	【取説P52～P53】 [血糖計本体の清掃] 少量の水又は消毒用アルコールで湿らせたガーゼパッドや布などで拭き取り、よく乾かしてください。 ＜注意点＞ ■シンナーやベンジンは使わないでください。破損や劣化の原因になります。 ■水と消毒用アルコール以外の薬剤は使わないでください。破損や劣化の原因になります。 ■本体は防水ではないため、ガーゼパッドや布などの水分をよく絞ってから使用してください。故障の原因となります。 ■流水にさらしたり、本体ごと液体につけたりしないでください。故障の原因となります [測定窓の清拭方法] 綿棒（ベビー用）に少量の水を含ませて測定窓の汚れ、埃を拭き取ってください。拭き取った後は、よく乾燥させてください。測定窓が濡れていると、正しく測定できません。 ＜注意点＞ ■シンナーやベンジンは使用しないでください。劣化や破損の原因になります。 ■硬いもので拭かないでください。測定窓に傷がつき、正しく測定できなくなります。	●消毒用アルコール (本体のみ、測定窓不可)

